



# 取扱説明書

保証書付

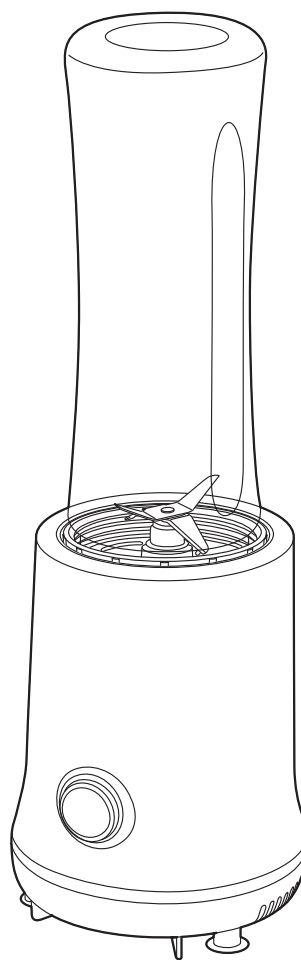
家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

## ボトルミキサー YME-540

### も く じ

安全上のご注意	1～3
各部の名称とはたらき	4
必ずお守りください	5
使いかた	5～10
調理例	11～12
お手入れと保管	13～15
故障かな?と思ったら	16
仕 様	17
アフターサービスについて	17
MEMO	18
保証書	裏表紙



この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ボトルミキサーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



## 警告



禁止

**交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

●延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセントの異常発熱や感電・発火・火災の原因になります。



分解禁止

**分解、修理、改造をしない**

●火災・感電・けがの原因になります。  
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



指示に従う

**本体に異常、故障、破損があったり電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**

●火災・感電・けがの原因になります。  
異常・故障例  
16ページの「こんな症状はありませんか?」を参照し異常がある場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



禁止

**傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない  
コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

●感電・ショート・発火の原因になります。



指示に従う

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

●発熱・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

**お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く**

●ショート・感電・けがの原因になります。



指示に従う

**定期的に電源プラグのほこりをふき取る  
電源プラグにピンやゴミを付着させない**

●刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。  
※電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



プラグを抜く

**使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**

●絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。






















ぬれ手禁止





**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

●ショート・感電・けがの原因になります。

# 警告

<p> <b>禁止</b></p> <p>電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねて使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●また、重いものをのせたり、挟み込んだり加工すると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</li> </ul> <p>※結束バンドは必ずはずしてください。</p>	<p> <b>水ぬれ禁止</b></p> <p>本体を水につけたり、水をかけたり丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電・ショート・火災・故障の原因になります。</li> </ul> 
<p> <b>指示に従う</b></p> <p>ボトルにボトル台を取りつけるときや取りはずすとき、お手入れのときは<b>カッターに注意する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けがの原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>安全スイッチを指や棒などで押さない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不意に動作してけがをしたり、故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>ボトルを取りつけず、ボトル台だけを本体に取りつけるなどカッターを露出したまま運転しない</p> <p>回転中のカッターは危険なので絶対に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電・けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>ボトルを取りつけず、ボトル台だけを本体に取りつけるなどカッターを露出したまま運転しない</p> <p>回転中のカッターは危険なので絶対に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>ボトルの中に指・箸・スプーンなど食材以外のものを入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>指示に従う</b></p> <p>ボトルを本体に取りつけるときや取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>接触禁止</b></p> <p>カッターは鋭利なので直接手で触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けがの原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>運転中やカッターが完全に停止するまでは、ボトルやボトル台の取りはずしはしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない</p> <p>幼児の手の届く場所で使用したり保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電・けがの原因になります。</li> </ul>
<p> <b>指示に従う</b></p> <p>1回の運転は1分間以内とする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●モーター故障などの原因になります。</li> </ul> <p>※1分間以上の連続運転はしないでください。</p> <p>※1分間使用ごとに1分間以上の休みを入れてください。ただし、負荷の状態により温度過昇防止装置が働いて運転を停止する場合があります。</p> <p>運転が停止した場合は、8ページの「使用中に運転が停止したときは」を参照して対処してください。</p>	<p> <b>指示に従う</b></p> <p>パッケージ用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>本体底面の通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>カッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電・ショート・発火の原因になります。</li> </ul> <p>※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。</p>	<p> <b>禁止</b></p> <p>電源コードを持って本体を引きずらない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障・事故の原因になります。</li> </ul>

# 注意

<p> <b>指示に従う</b></p> <p>1回の運転は1分間以内とする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●モーター故障などの原因になります。</li> </ul> <p>※1分間以上の連続運転はしないでください。</p> <p>※1分間使用ごとに1分間以上の休みを入れてください。ただし、負荷の状態により温度過昇防止装置が働いて運転を停止する場合があります。</p> <p>運転が停止した場合は、8ページの「使用中に運転が停止したときは」を参照して対処してください。</p>	<p> <b>指示に従う</b></p> <p>パッケージ用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>禁止</b></p> <p>本体底面の通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p>電源コードを持って本体を引きずらない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障・事故の原因になります。</li> </ul>

# ⚠ 注意



禁止

**ボトル・ボトル台・ボトルふたを電子レンジやオーブンレンジなどで使用しない**

**ボトル台やボトルふたを食器洗浄機や食器乾燥機などで使用しない**

- やけど・変形・破損の原因になります。ボトルについては食器洗浄機・食器乾燥機で使用できます。



禁止

**40℃以上のお湯でボトル台やボトルふたを洗ったり、40℃以上の熱い食材をボトルに入れない**

- ボトル台やボトルふたの変形・変色・破損の原因になります。



禁止

**かたい食材、粘りけの強い食材、水分の少ない食材を調理したり、市販のロックアイスや大きな氷を粉碎しない**

- 破損・故障の原因になります。



指示に従う

**本体にボトルを確実に取りつけ本体をしっかり持って運転する**

- けが・故障の原因になります。



禁止

**次のような場所では使用しない**

- 故障・けが・感電・火災の原因になります。
- 火気(コンロ・ストーブ)などの近くや直射日光のあたる所。
- 高温(40℃以上)になる所。
- ほこりや金属片の多い所。
- 油・油煙・引火性のガスのある所。
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所。
- 雨や水のかかる場所や湿気の多い所。



禁止

**調理以外の目的で使用しない**

- けが・故障の原因になります。



指示に従う

**移動や持ち運ぶときは本体やボトルをしっかり持っておこなう**

- 落下するなどして破損・故障・けがの原因になります。



禁止

**本体やボトルなどを落としたり、強い衝撃を与えない**

- 本体やボトルなどに無理な力や強い衝撃を与えると破損・故障・感電・けがの原因になります。



禁止

**掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない**

- 変質・破損・けが・事故の原因になります。



禁止

**ボトルにボトル台を取りつけた状態で食材や調理物を入れたまま保存したり、長時間放置しない**

- 部品の劣化や故障の原因になります。
- ※ 一時的に持ち出すときは、必ずボトルふたにつけかえてください。



禁止

**定格容量を超える量の食材をボトルに入れて調理しない**

- 故障の原因になります。
- ボトル〈大〉は500mL、ボトル〈小〉は400mLです。



指示に従う

**食材が多すぎたり、その他の原因でカッターの回転が遅かったり、停止したときはすぐに運転を中止する**

- 故障・けが・事故の原因になります。



禁止

**カラ運転や極端に少ない食材で運転しない**

- けが・故障の原因になります。
- ※ 食材はボトルのおよそ1/4以上入れてください。



禁止

**ボトルを上から押さえるなど力を加えて運転しない**

- モーターや回転部に無理な負担がかかり破損・故障の原因になります。



指示に従う

**安定した水平な場所で使用する**

- 不安定な場所で使用すると落下や転倒して破損・故障・けがの原因になります。



禁止

**本製品は一般家庭用です絶対に業務用を使用しない**

- 本製品に無理な負担がかかり、破損・故障・火災・事故の原因になります。



禁止

**運転中に本体を持ち運ばない**

- けが・故障の原因になります。

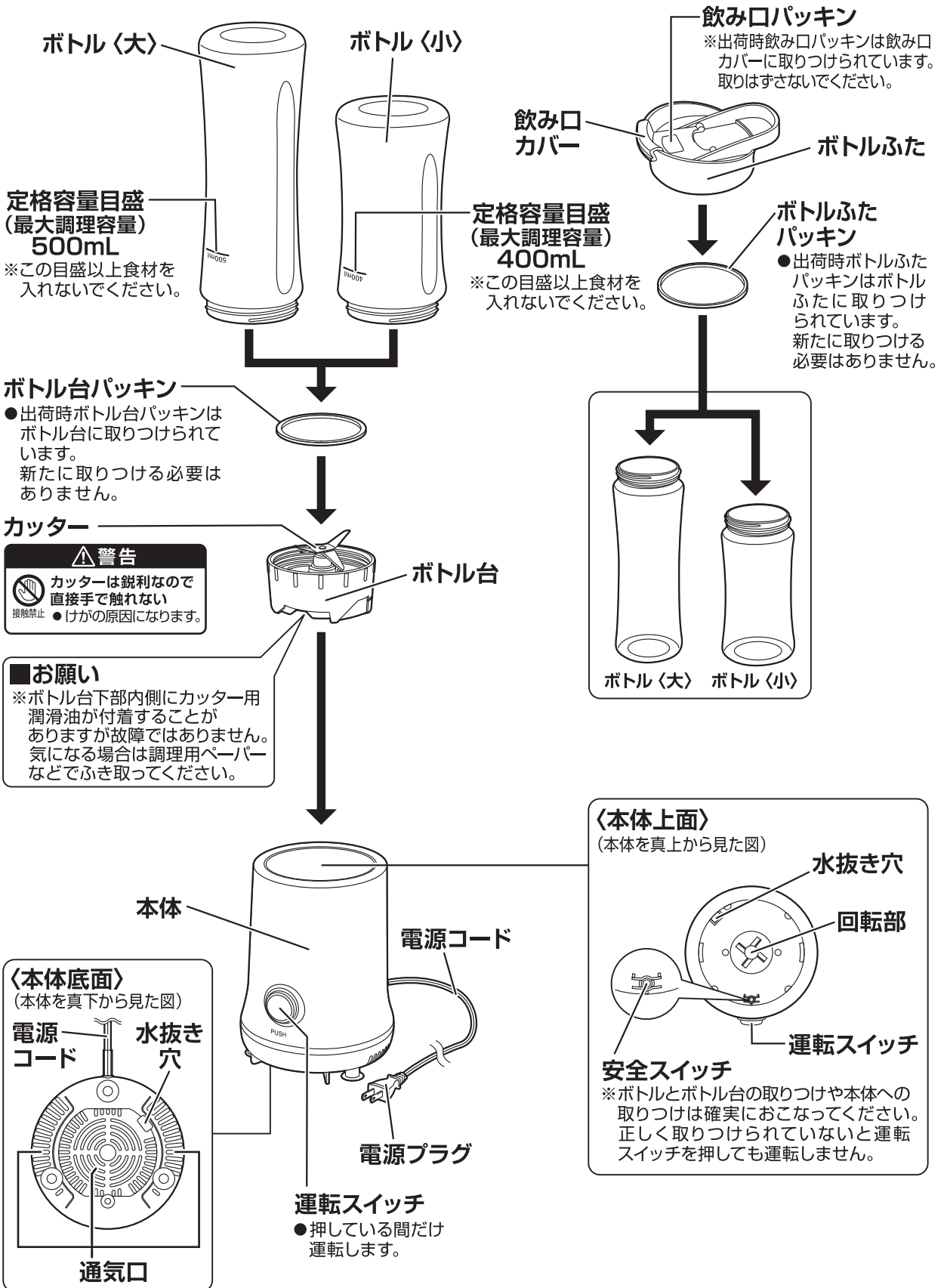


禁止

**お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない**

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
- ※ お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

# 各部の名称とはたらき



# 必ずお守りください

※本製品は水などの液体と一緒に果物や野菜を調理するためのものです。

食材をこねる、水分の少ないものをまぜる、ペーストを作るなどの用途には使用できません。

(例：ハンバーグのタネ・お菓子やパンの生地・流動食など)

そのため、下記に記載するような食材は調理しないでください。

故障・破損・けがの原因になります。

## 調理禁止食材

<b>氷</b> 氷のみでの粉碎や ロックアイス(市販のもの)  ●家庭用冷蔵庫の製氷機で作った 角氷(約2cm角)は食材と一緒に 2~3個まで調理(使用)する ことができます。	<b>肉・魚介類</b> 挽肉作り・ハンバーグのタネ ギョウザのタネ・つみれなど	<b>かたい食材</b> 大豆・コーヒード・乾物類 冷凍した食材など
	<b>粘りけの強い食材</b> 長いも・じねんじょ・お菓子や パンの生地・流動食・水あめ	<b>水分の少ない食材</b> ゆでたじゃがいもなど

## 使いかた

※はじめてご使用になるときは、13~15ページの「お手入れと保管」を参照して各部品を取りはずし水洗いしてください。

### 調理前の準備

■調理する前の準備をおこなうときは11~12ページの「調理例」も合わせて参照してください。

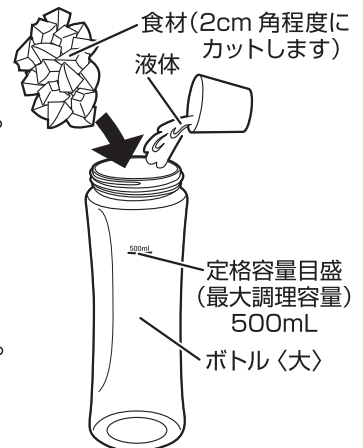
#### 1 ボトルに食材をいれる

●食材を約2cm角程度にカットし、下記の順番でボトルに入れます。

- ①角氷(必要な場合)
- ②かたい食材や水分の少ない食材
- ③葉物野菜
- ④やわらかい食材や水分の多い食材
- ⑤液体

※ボトルは大(500mL)、小(400mL)どちらでも調理できます。

11~12ページの調理例を参照し、お好みに合わせて使いわけてください。



#### ご使用上の注意

※食材と一緒に、必ず水または牛乳を入れてください。

水分が少ない状態で調理すると、カッターに食材がからみ、故障の原因になります。

※食材は必ずかたい食材から入れてください。

液体や、やわらかい食材を先に入れると、かたい食材がカッターに引っかかり運転が止まりやすくなります。

※食材は、定格容量目盛以上入れないでください。

故障の原因になります。

※食材が少なすぎても正常に調理できなかったり、故障の原因になりますので食材はボトルのおよそ1/4以上入れてください。

# 使いかた

## 2 ボトルにボトル台を取りつける

- ボトル台のカッター側を下にしてボトルにかぶせ、ボトルを手でしっかりと持って、ボトル台を右回し（時計回転）に止まるまで回して確実に取りつけます。

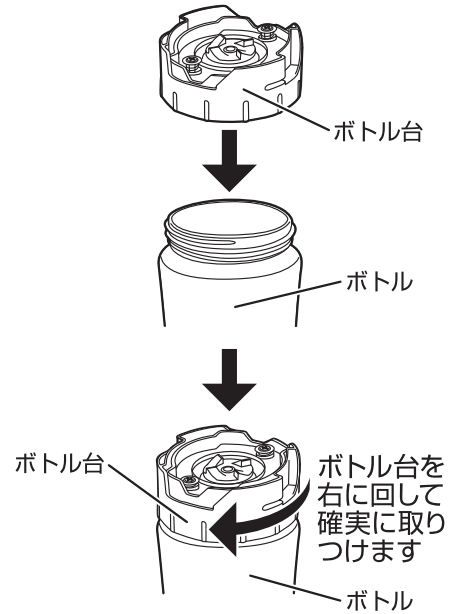
※ボトルとボトル台は確実に取りつけてください。確実に取り付けられていないと、安全スイッチが働いて運転スイッチを押しても運転しなかったり食材がもれる原因になります。

### ご使用上の注意

※取りつける前に、ボトル台にボトル台パッキンが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、食材がもれる原因になります。

### 警告

！ ボトルにボトル台を取りつけるときや取りはずすとき、お手入れのときはカッターに注意する  
指示に従う ●けがの原因になります。



## 3 本体にボトルを取りつける

- ボトル台を下側にして、下記の要領で本体に差し込み取りつけます。

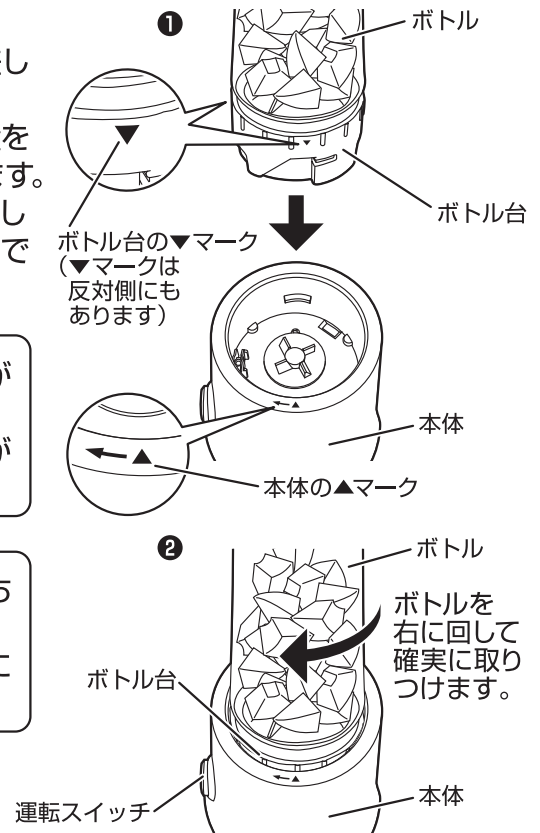
- ① 本体の▲マークとボトル台の▼マークの位置を合わせて、ボトルを本体に奥まで差し込みます。
- ② 本体を手でしっかりと持って、ボトルを右回し（本体に印してある矢印の方向）に止まるまで回して確実に取りつけます。

### お知らせ

※ボトルを少し回すと回転に抵抗がありますが回らなくなるまで確実に回してください。最後までしっかり回っていないと安全スイッチが働いて運転しません。

### ご使用上の注意

※本体にボトルを取りつけたあとは、持ち運ばないでください。ボトルが落下するなどしてけが・破損の原因になります。



# 使いかた つづき

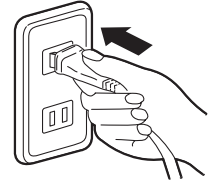
## 調理する

### 1 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込みます。

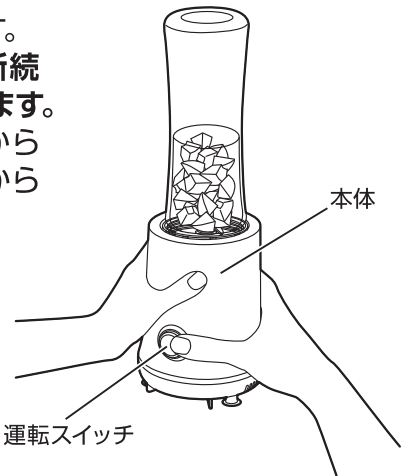
#### ご使用上の注意

- ※運転スイッチを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。  
急に動作してけがの原因になります。



### 2 本体を手でしっかりと持って、運転スイッチを押して調理する

- 食材の種類やお好みのでき上がり状態により運転時間を調節します。
- 運転スイッチを押している間だけカッターが回転します。
- 調理のはじめに運転スイッチを断続的に数回押して断続運転をすることで、食材が粉碎されて攪拌しやすくなります。  
※食材が粉碎されにくいときは、運転を停止し本体からボトルを取りはずして、ボトルを数回上下に振ってから再度ボトルを本体に取りつけて運転してください。



#### ⚠ 注意

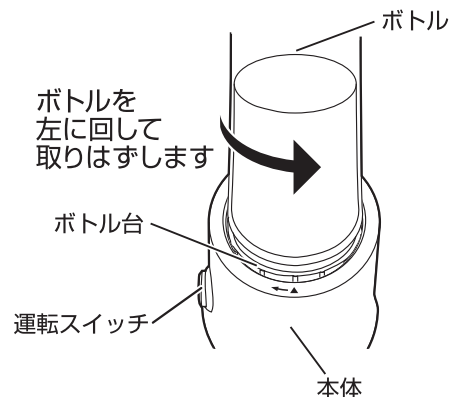
- ❗ 1回の運転は1分間以内とする  
●モーター故障などの原因になります。  
※1分間以上の連続運転はしないでください。  
※1分間使用ごとに1分以上の休みを入れてください。  
ただし、負荷の状態により温度過昇防止装置が働いて運転を停止する場合があります。  
運転が停止した場合は、8ページの「使用中に運転が停止したときは」を参照して対処してください。
- ❗ 食材が多すぎたり、その他の原因でカッターの回転が遅かったり、停止したときはすぐに運転を中止する  
●故障・けが・事故の原因になります。

### 3 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

- 調理が終わったら、カッターが完全に停止したのを確認して電源プラグをコンセントから抜きます。

### 4 本体からボトルを取りはずす

- 本体を手でしっかりと持って、ボトルを左回し（反時計回転）に回して本体からボトルを取りはずします。





# 使いかた つづき

## 使用中に運転が停止したときは

※本製品はモーターを保護するために温度過昇防止装置（サーモスタット）がついています。

食材の入れすぎや水分不足、調理できない食材を調理したり、1回の運転時間や休止時間を守らないで運転すると、モーターに負荷がかかりモーターの温度が上昇して、温度過昇防止装置が働いて運転を停止します。

※温度過昇防止装置が働いて運転が停止した場合は、下記の手順にしたがって対処してください。

※手順を守らない場合、不意に動作してけがの原因になります。

**1** 電源プラグをコンセントから抜く

**2** 本体からボトルを取りはずす

**3** 30分以上休ませる

- 食材の入れすぎなどでモーターに負荷がかかり停止してしまった場合は、30分以上休ませてから下記の「食材が原因で停止した場合は」を参照し、食材を入れなおして再度運転します。
- 運転時間（1分間以内）や休止時間（1分間以上）を守らないで運転し、モーターに負荷がかかり停止してしまった場合は、30分以上休ませてから再度運転します。

### 食材が原因で停止した場合は

原因	処置
●食材を入れすぎていませんか？	●量を減らしてください。
●食材が大きすぎませんか？	●小さく切りなおしてください。
●調理禁止食材を入れていませんか？ <ul style="list-style-type: none"><li>・氷（市販のロックアイス）</li><li>・肉・魚介類</li><li>・かたい食材</li><li>・粘りけの強い食材</li><li>・水分の少ない食材</li></ul>	●5ページの「必ずお守りください」を参照して調理禁止食材を取り除いてください。
●水分が少ない状態ではありませんか？	●水か牛乳を入れて水分を足してください。
●食材がカッターにからまっていませんか？	●カッターにからまった食材を取り除いてください。

# 使いかた つづき

## ボトルふたの使いかた

### 知っておいていただきたいこと

■ ボトルふたは、調理したものをそのまま飲んだり、注いだり、一時的に持ち出したりするためのものです。

※ ボトルふたを取りつけて持ち出しをするときは、必ずボトルを立てた状態で持ち運び、大きく（強く）揺らしたり、振ったりしないでください。

かばんなどに入れて持ち運ぶときも同様に、大きく（強く）揺らしたり、振ったりしないでください。

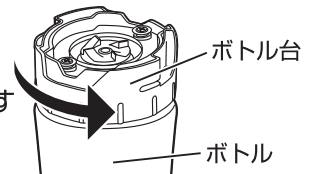
ボトルふたは完全密封ではありませんので、調理物がもれる原因になります。また、飲み口カバーが引っかかったりして不用意に開いてしまわないように十分ご注意ください。

※ ボトルふたは完全密封ではありませんので、調理物の保存には向きません。調理物は酸化して変色するなどいたみやすいので、調理が終わったらできるだけ早めにお召しあがりください。

### 1 ボトルからボトル台を取りはずす

- ボトル台を上側にし、ボトルを手でしっかりと持って、ボトル台を左回し（反時計回転）に回してボトルからボトル台を取りはずします。

ボトル台を  
左に回して  
取りはずします



#### 警告



指示に従う

● ボトルにボトル台を取りつけるときや取りはずすとき、お手入れのときはカッターに注意する

- けがの原因になります。

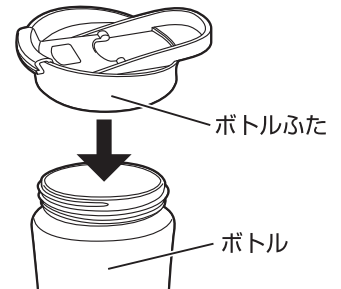
### 2 ボトルにボトルふたを取りつける

- ボトルふたをボトルにかぶせ、ボトルを手でしっかりと持って、ボトルふたを右回し（時計回転）に止まるまで回して確実に取りつけます。

#### ご使用上の注意

※ 取りつける前に、ボトルふたにボトルふたパッキングが正しく取りつけてあるか確認してください。

正しく取り付けられていないと、調理物がもれる原因になります。

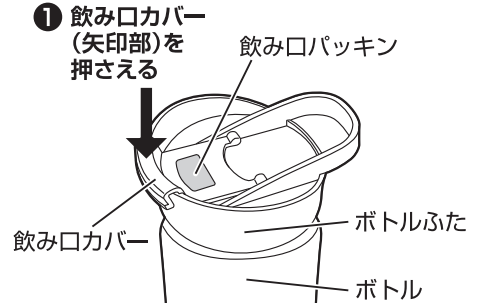
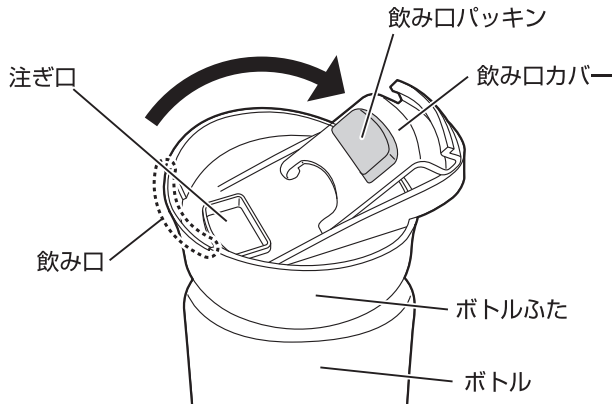


# 使いかた つづき

## 3 ボトルふたの飲み口カバーをしっかりとかぶせる

- 1 ボトルふたの飲み口カバー（右図矢印部）を上から押さえ飲み口にしっかりと押し込みます。
- 2 飲み口パッキン周辺部を指で押さえます。  
※飲み口パッキンが注ぎ口にしっかりとハマっていないと、調理物がもれる原因になりますので必ず飲み口パッキン周辺部を指で押さえてください。

### ■飲み口カバーを開けた状態



### ボトルふたを取りつけて、調理物を飲んだり注いだりするとき

※注ぎ口から調理物が勢いよく出てくる場合がありますので、ゆっくりとボトルを傾けてください。

# 調理例

- ※運転時間は調理する食材の状態や、お好みのでき上がり状態により異なりますので、目安にしてください。
- ※家庭用冷蔵庫の製氷器で作った角氷（約2cm角）は使用できますが、1回の調理で角氷を使用する量は2～3個にしてください。  
一度にたくさん入るとカッターを傷めたり、モーター故障の原因になります。
- ※食材は、①角氷（必要な場合）→②かたい食材や水分の少ない食材→③葉物野菜→④やわらかい食材や水分の多い食材→⑤液体の順に入れてください。  
液体や、やわらかい食材を先に入れると、かたい食材がカッターに引っかかり運転が止まりやすくなりますので、必ずかたい食材から入れてください。
- ※調理後は酸化して変色するなどいたみやすいので、できるだけ早めにお召し上がりください。

## ミックスジュース

	ボトル〈大〉	ボトル〈小〉
食材	①角氷（必要な場合） ……2～3 個 ②りんご ……1/4 個（約 50g） ③バナナ ……1/2 本（約 60g） ④みかん ……約 50g ⑤牛乳 ……150mL	①角氷（必要な場合） ……1～2 個 ②りんご ……1/6 個（約 30g） ③バナナ ……1/3 本（約 40g） ④みかん ……約 30g ⑤牛乳 ……80mL
作りかた	りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 バナナは皮をむき、約2cm角に切ります。 みかんは皮をむき、約2cm角に切ります。 上記の番号順で食材をボトルに入れ、40秒～50秒間運転します。	

## りんごジュース

	ボトル〈大〉	ボトル〈小〉
食材	①角氷（必要な場合） ……2～3 個 ②りんご ……1/2 個（約 100g） ③牛乳 ……200mL ④レモン汁 ……大さじ 1 ⑤砂糖 ……大さじ 1	①角氷（必要な場合） ……1～2 個 ②りんご ……1/4 個（約 50g） ③牛乳 ……120mL ④レモン汁 ……小さじ 2 ⑤砂糖 ……小さじ 2
作りかた	りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 上記の番号順で食材をボトルに入れ、40秒～50秒間運転します。	

## ストロベリージュース

	ボトル〈大〉	ボトル〈小〉
食材	①角氷（必要な場合） ……2～3 個 ②いちご ……約 150g ③牛乳 ……120mL ④砂糖 ……大さじ 2	①角氷（必要な場合） ……1～2 個 ②いちご ……約 90g ③牛乳 ……70mL ④砂糖 ……大さじ 1
作りかた	いちごはへたを取り、半分に切ります。 上記の番号順で食材をボトルに入れ、40秒～50秒間運転します。	

# 調理例 つづき

## りんごとほうれん草のスムージー

	ボトル〈大〉	ボトル〈小〉
食 材	①角氷(必要な場合) ……2～3 個 ②りんご ……1/3 個(約 70g) ③ほうれん草 ……約 20g ④バナナ ……1/2 本(約 60g) ⑤水 ……100mL	①角氷(必要な場合) ……1～2 個 ②りんご ……1/4 個(約 50g) ③ほうれん草 ……約 15g ④バナナ ……1/3 本(約 40g) ⑤水 ……70mL
作 り か た	りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 ほうれん草は茎を取り除き、約2cmに切ります。 バナナは皮をむき、約2cm角に切ります。 上記の番号順で食材をボトルに入れ、40秒～50秒間運転します。	

## パセリとキウイのスムージー

	ボトル〈大〉	ボトル〈小〉
食 材	①角氷(必要な場合) ……2～3 個 ②チンゲン菜 ……約 30g ③パセリ ……約 5g ④キウイ ……1/2 個(約 60g) ⑤バナナ ……1/2 本(約 60g) ⑥水 ……90mL	①角氷(必要な場合) ……1～2 個 ②チンゲン菜 ……約 15g ③パセリ ……約 3g ④キウイ ……1/3 個(約 40g) ⑤バナナ ……1/3 本(約 40g) ⑥水 ……50mL
作 り か た	チンゲン菜は茎を取り除き、約2cmに切ります。 パセリは約2cmに切ります。 キウイは皮を取り、約2cm角に切ります。 バナナは皮をむき、約2cm角に切ります。 上記の番号順で食材をボトルに入れ、40秒～50秒間運転します。	

### ⚠ 注意



かたい食材、粘りけの強い食材、水分の少ない食材を調理したり、市販のロックアイスや大きな氷を粉碎しない

禁止

● 破損・故障の原因になります。

## 調理アドバイス

### ■冷たいジュースやスムージーを作るコツ

食材をあらかじめ冷蔵庫で冷やしてから調理すると、より冷たいジュースやスムージーを作ることができます。

### ■おいしいジュースやスムージーを作るコツ

食材を入れるとき、皮・芯・茎など苦みや渋みなどがある部分を取り除いて調理するとよりおいしいジュースやスムージーを作ることができます。

### ■食材がボトルの内側に付着したり、カッターとボトル台の間に挟まって調理しにくいとき

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてボトルを本体から取りはずし、付着したり挟まっている食材を取り除いてから調理します。

食材が大きくて調理しにくい場合は、取り除いたあとに小さくカットしてから調理します。




# お手入れと保管

お手入れや移動のときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなう。  
ボトルミキサーは、食品に触れる調理器具です。  
ご使用後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用する。  
※お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用してください。

## 警告

 <p>お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く ●ショート・感電・けがの原因になります。</p>	 <p>本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●感電・ショート・火災・故障の原因になります。</p>
 <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●ショート・感電・けがの原因になります。</p>	 <p>カッターは鋭利なので直接手で触れない ●けがの原因になります。</p>

## 注意

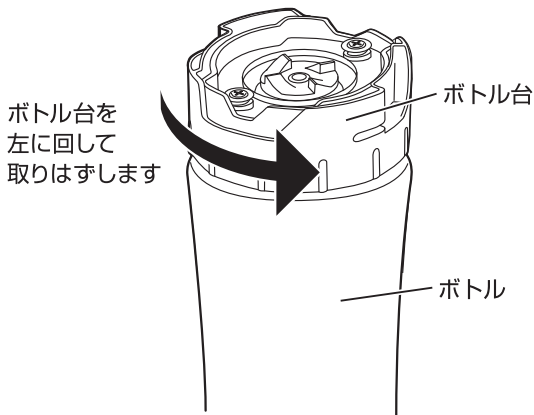
 <p>40℃以上のお湯でボトル台やボトルふたを洗ったり、40℃以上の熱い食材をボトルに入れない ●ボトル台やボトルふたの変形・変色・破損の原因になります。</p>
 <p>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない ●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。 ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。</p>
 <p>掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない ●変質・破損・けが・事故の原因になります。</p>

お手入れするときは、下記(13~14ページ)を参照し各部品を取りはずしてお手入れしてください。

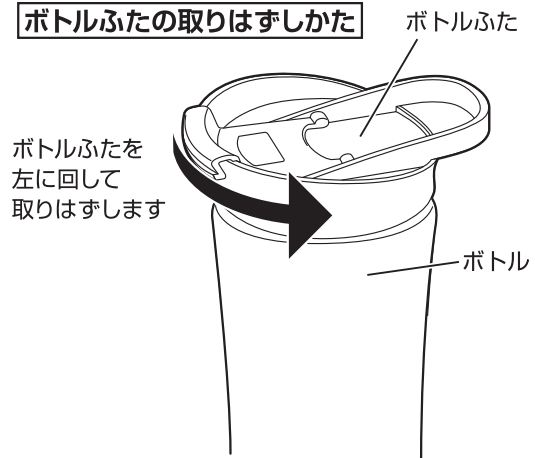
### ■ ボトル台とボトルふたの取りはずしかた

- ボトルを手でしっかりと持って、ボトル台、またはボトルふたを左回し(反時計回転)に回して取りはずします。  
※ ボトル台を取りはずすときは、カッターに触れないように注意して取りはずしてください。

#### ボトル台の取りはずしかた



#### ボトルふたの取りはずしかた

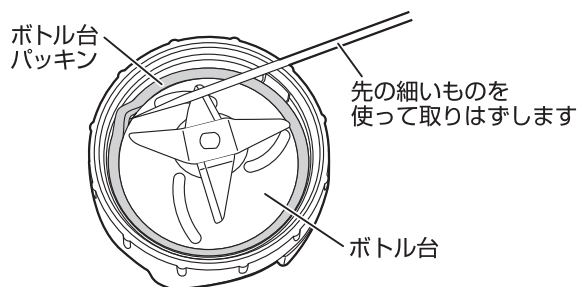


# お手入れと保管 つづき

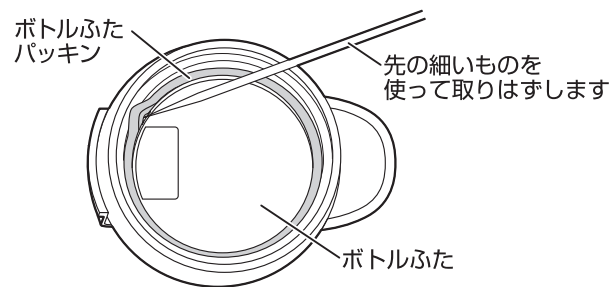
## ■ ボトル台パッキンとボトルふたパッキンの取りはずしかた

- 先の細いものを使ってパッキンを浮かせて取りはずします。  
※ ボトル台からボトル台パッキンを取りはずすときは、カッターに触れないように注意して取りはずしてください。  
※ 千枚通しなどの金属製のものは、パッキンを傷つけてしまうため、使用しないでください。

### ボトル台パッキンの取りはずしかた



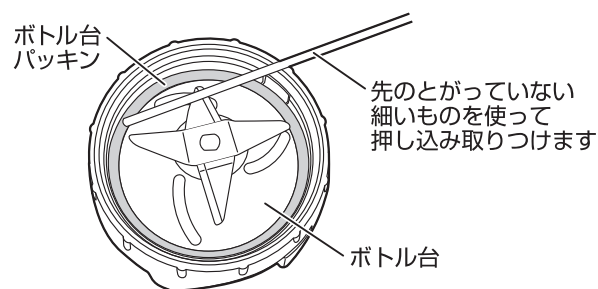
### ボトルふたパッキンの取りはずしかた



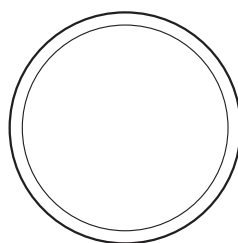
## ■ ボトル台パッキンとボトルふたパッキンの取りつけかた

- 先のとがっていない細いものを使って、パッキンがねじれたりしないように全体を押し込み取りつけます。  
※ ボトル台にボトル台パッキンを取りつけるときは、カッターに触れないように注意して取りつけてください。  
※ ボトル台パッキンとボトルふたパッキンは太さが違うため、取りつけるときは下図を参照して間違えないように注意してください。  
間違えて取りつけると食材や調理物がもれたり、パッキンが傷ついたり、破損する原因になりますので注意してください。

### ボトル台パッキンの取りつけかた

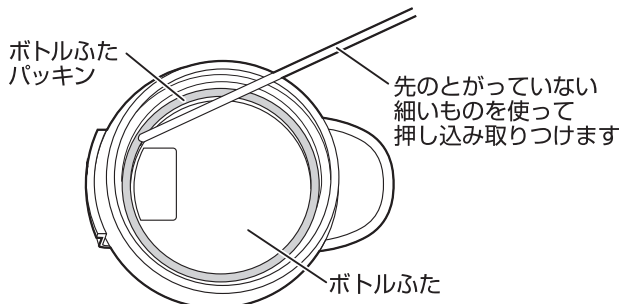


### ボトル台パッキン

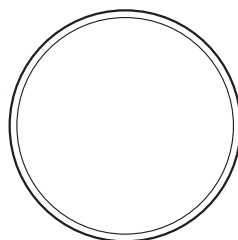


ボトル台パッキンの方が太い

### ボトルふたパッキンの取りつけかた



### ボトルふたパッキン

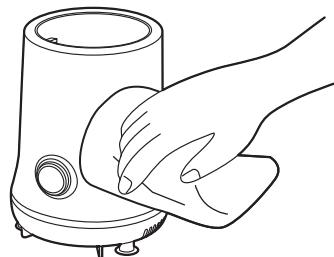


ボトルふたパッキンの方が細い

# お手入れと保管 つづき

## 本体 (丸洗いできません)

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきをよくしぼって汚れをふき取ります。
  - 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきで洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
- ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。



## ボトル・ボトルふた・ボトルふたパッキン (丸洗いできます)

- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
  - 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取ってよく乾燥させます。
  - ボトルは食器洗浄機で洗うことができます。
- ※ボトル台やボトルふたは食器洗浄機で洗えません。  
変形・変色・破損の原因になります。
- ※ご使用時はボトルふたパッキンが取り付けられているか必ず確認してください。  
調理物がもれる原因になります。



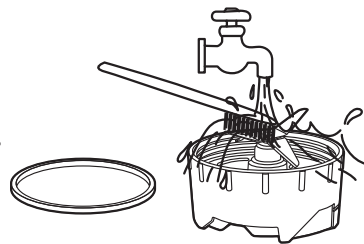
## ボトル台・ボトル台パッキン (丸洗いできます)

### 〈ボトル台〉

- 台所用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し乾燥させます。

### 〈ボトル台パッキン〉

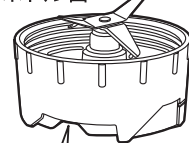
- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
  - 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取ってよく乾燥させます。
- ※ご使用時はボトル台パッキンが取り付けられているか必ず確認してください。  
食材や調理物がもれる原因になります。



## ■お願い

- ※ボトル台下部内側にカッター用潤滑油が付着することがありますが故障ではありません。  
気になる場合は調理用ペーパーなどでふき取ってください。  
落ちにくい場合は、台所用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いし洗剤が残らないように水で洗い流し乾燥させます。

ボトル台



ボトル台下部内側

## ■保管

保管のときは必ずお手入れをおこない、よく乾燥させる。

- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)



# 故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	●ボトル、ボトル台が確実に取り付けられていますか?	●安全スイッチが働いています。ボトル、ボトル台を確実に取りつけてください。
	●1分以上の連続運転をしていませんか?	●モーターに負荷がかかり温度過昇防止装置が働いて運転できなくなっている場合があります。8ページの「使用中に運転が停止したときは」を参照して対処してください。 それでも運転しない場合は、お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。 ※調理禁止食材については、5ページの「必ずお守りください」を参照してください。
	●休止時間を守らないで運転していませんか?	
	●食材を入れすぎていませんか?	
	●食材が大きすぎませんか?	
	●調理禁止食材を入れていませんか?	
●水分が少ない状態ではありませんか?		
カッターの回転が遅く モーターがうる ような音がする	●食材を入れすぎていませんか?	●量を減らしてください。
	●食材が大きすぎませんか?	●小さく切りなおしてください。
	●調理禁止食材を入れていませんか?	●5ページの「必ずお守りください」を参照して、調理禁止食材を取り除いてください。
	●水分が少ない状態ではありませんか?	●水か牛乳を入れて水分を足してください。
	●食材がカッターにからまっていませんか?	●カッターにからまった食材を取り除いてください。
振動が大きい	●回転部が変形していませんか?	●お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。
食材、調理物がもれる	●パッキンが正しく取り付けられていますか?	●パッキンを正しく取り付けなおしてください。
	●ボトル台やボトルふたが確実に取り付けられていますか?	●ボトル台やボトルふたを確実に取りつけてください。

## 点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

### ★こんな症状はありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

### ★異常があれば

#### ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

# 仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	180W
製 品 寸 法(約)	ボトル〈大〉装着時 幅:115mm×奥行:120mm×高さ:365mm ボトル〈小〉装着時 幅:115mm×奥行:120mm×高さ:305mm
製 品 質 量(約)	ボトル〈大〉装着時 940g ボトル〈小〉装着時 930g
コ ー ド 長(約)	1.5m
定 格 時 間	1分間 (1分間使用ごとに1分間以上休止)
定 格 容 量	ボトル〈大〉:500mL ボトル〈小〉:400mL
安 全 装 置	サーモスタット(温度過昇防止装置)、安全スイッチ

※製品の仕様や外観などは改善などのため、予告なく変更する場合があります。

## アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。  
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。  
保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。  
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

### ■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱いお手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間:10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでの  相談は  0120-680-287

●Eメールでの  相談は [info\\_m@yamazen.co.jp](mailto:info_m@yamazen.co.jp)

#### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

S-170302

